

平成29年9月1日

北近畿経済新聞(5面)に掲載されました

北近畿発
企業
決算

日東精工(本社・綾
部市井倉町、材木正己
社長)の2017年12
月期中間決算は、売上
高が前年同期比17・6
%増の146億250
万円、営業利益は産
機事業の落ち込みから
同6・3%減の13億7
200万円となつた。
経常利益は同4・5
%減の14億4300万
円、中間純利益は同5
・6%減の8億210
0万円といずれも前年

日東精工(本社・綾
部市井倉町、材木正己
社長)の2017年12
月期中間決算は、売上
高が前年同期比17・6
%増の146億250
万円、営業利益は産
機事業の落ち込みから
同6・3%減の13億7
200万円となつた。
経常利益は同4・5
%減の14億4300万
円、中間純利益は同5
・6%減の8億210
0万円といずれも前年

日東精工 17年12月期中間決算
売上高は17%増

を下回つた。
事業別の売上高をみ
ると、主力のファスナ
ー事業はゲーム機の需
要増に伴い精密ねじの
機事業の落ち込みから
市況が好調に推移した
ことから、同32・3%
増の105億2千万円
と大幅に増加。
産機事業は標準機種
製品や自動組立ライン
が堅調に推移したもの
の前年度の大型受注の
反動から同9・0%減

の31億3400万円と
落ち込んだ。制御事業
は、流量計や部品検査
装置の需要が伸びず同
6・3%減の9億71
00万円だつた。
17年12月期の通期業
績は売上高が前期比14
・1%増の300億
円、営業利益は同3・
9%増の27億円を見込
み、2月に発表した業
績予想を上方修正し
た。

〔岡田〕